

災害派遣職員レポート

No.29 H23.6.13

陸前高田で活動している えびな北高齢者施設 原山職員より

サロン立ち上げを中心に、毎日活動しています。

サロンは二種類で、ひとつは公民館で週一回行う介護予防型のもの、もうひとつは仮設テントをはり、毎日行うお茶飲み場型の青空サロンです。仮設テントの設置はすでに終わりました。備品等揃えて、青空サロンは私達のいる間に開設出来るといいな、と思っています。思うように進まず、焦るときも正直ありますが、長い目でみなきゃと気持ちを切り替えています。

菅原所長より

サロンの立ち上げが現実的になってきているようです。ニュース等見ていると仮設住宅に入っても生活ができない状況の方がいると言われていています。通院できない、生活費がない、引っ越しができない等のいろんな問題が出てきています。原山職員たちが作っていくサロンが、地域に根差して行くようにしっかりしたと基礎づくりが大切ですね。

同じく陸前高田の避難所で活動している えびな北高齢者施設 佐藤職員より

Tシャツにがんばっべしを合い言葉にして書き、

皆さんにプレゼントをして絆の和を広めています。

結構喜んでもらっています。

年齢が身体に悲鳴を与えているようであちこち痛みだしました。中心会の仲間に岩手県でも会えて、こうやって神奈川とも繋がりをもっていることがとても感動し、パワーをもらえます。

菅原所長より

「絆の丘」 Tシャツを自分で作ったのですね。

白Tシャツを持って行ったのかな？

準備周到ですね。佐藤主任らしい発想です。

二日前に電話をくれました。

そのあとにメールをくれました。写真つきです。

かかっている絵は津波に流されなかった唯一の木です。

